



## 冬になると要注意！脳梗塞について

### 1:はじめに

冬になると増加する病気の1つに脳卒中があります。冷たい空気に交感神経が刺激され、血管が収縮し、血圧が上昇することで脳卒中の発症が誘発されます。脳卒中とは脳梗塞、脳出血、くも膜下出血を総称したもので、2020年の日本人の死因の第4位となっています。今回はその中で最も発症頻度が高い脳梗塞に焦点をあてたいと思います。

### 2:脳梗塞とは？

脳梗塞とは脳の動脈が詰まり、血流が悪くなることで周りの組織が壊死してしまう病気で、生活習慣病が大きく関与しています。脳梗塞は大きく3種類に分類され、発症する原因や治療法が異なります。脳梗塞の初期症状としては、口元がゆがむ、手に力が入らない、呂律が回らなくなる、視野が狭くなるなどがあります。治療後も片麻痺、失語などの後遺症が残ることもあります。

	心原性脳塞栓症	アテローム血栓性脳梗塞	ラクナ梗塞
危険因子	心疾患、心房細動など	高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙など	主に高血圧
原因	・心臓でできた血の塊（血栓）が、脳に運ばれて脳動脈を塞ぐことで発症	・脳血管が動脈硬化により、狭くなったり、塞がることで発症	・脳の細い血管に血栓が詰まることで発症
発症までの期間	・急激に発症	・徐々に進行	・徐々に進行
発症方法			



### 3: 治療

急性期には血栓を溶かす薬を点滴します。また、足の付け根からカテーテルを入れ、血栓を回収することもあります。その後は、再発予防のために抗血小板薬と抗凝固薬などの血栓ができにくくする薬を服用しはじめます。これらの薬は脳梗塞の再発防止に大切であるため、決められた量・期間を守って、飲み忘れのないようにしましょう。また、これらの薬は出血のリスクが高くなるため、出血する可能性のある処置や手術等を行う際は、一時休薬する場合があります。事前に医師や医療スタッフに服用していることを伝えてください。この他にも高血圧、脂質異常症、糖尿病などの治療も併せて行うことがあります。脳梗塞で使用される当院の院内採用薬について以下の表に示します。

急性期		
商品名(成分名)	作用	特徴や副作用など
グルトパ®注 (アルテプラゼ)	血栓を溶かし脳の機能を回復させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳梗塞発症後 4.5 時間以内に投与を行う</li> <li>・出血している場合は使用できない</li> <li>・副作用: 出血など</li> </ul>
ラジカット®点滴静注 エダラボン点滴静注液 (エダラボン)	脳の酸化によるダメージを防ぎ、脳の機能を保護する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発症 24 時間以内に投与を開始する。</li> <li>・副作用: 腎機能障害など</li> </ul>
再発予防		
抗血小板薬: アテローム血栓性脳梗塞、ラクナ梗塞で使用 →血小板の凝集に関与する因子を抑制し、血小板の凝集を防ぐ		
商品名(成分名)	特徴や副作用など	
プレタール®OD錠 シロスタゾール OD錠 (シロスタゾール)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳出血の副作用が少ない</li> <li>・副作用: 頭痛、動悸など</li> </ul>
バイアスピリン®錠 (アスピリン)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・急性期に使用することもある</li> <li>・胃の負担を軽減する工夫がされているため、嚙まずに服用する</li> <li>・胃腸障害を防ぐため、空腹時の内服は避けた方が望ましい</li> <li>・副作用: 血管浮腫、胃腸障害、腎障害など</li> </ul>
クロピドグレル錠 (クロピドグレル)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・副作用: 下痢、無顆粒球症、重篤な肝障害など</li> </ul>
エフィエント®錠、OD錠 (プラスグレル)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロピドグレルと比較して効果に対する個人差が少ない</li> <li>・2021 年 12 月より再発予防に使用できるようになった</li> </ul>
抗凝固薬: 心原性脳塞栓症で使用 →血液が固まる際に関与する因子を阻害して血栓を防ぐ		
商品名(成分名)	特徴や副作用など	
ワーファリン錠 (ワルファリン)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・納豆、クロレラ食品、青汁などのビタミンKが含有されている物は抗凝固作用を減弱させるので避ける</li> <li>・副作用: 発疹、掻痒感など</li> </ul>
リクシアナ®OD錠 (エドキサバン)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーファリンと比較し出血が少なく、用量に個人差が少ない</li> <li>・高度腎障害がある場合は使用できない</li> <li>・副作用: 貧血、肝障害など</li> </ul>

最後に、脳梗塞にならないためにも血圧や血糖値、コレステロール値の管理を行い、食事や適度な運動を心がけましょう。

参考資料: 脳梗塞の種類 | 大塚製薬 (otsuka.co.jp)、月刊薬事 2021 年 12 月号

文責: 薬剤師 前田 菜々子